



- やさしく (徳)
- かしこく (知)
- たくましく (体)

「432名のヒーローたちへ、毎日応援しています!!『今日のヒーロー』より」

【お話朝会 (オンライン) より】 皆さん、おはようございます。校長先生は、南小の自慢をいくつも持っています。もちろん、自慢は皆さんのこと。まずは「南っ子たちは、素直で優しく、思いやりの心をもってお友達に接することができる」ことです。それに、「係や当番、掃除、委員会の仕事も、本当に一生懸命に取り組める」ことや「学年、学校の行事でも一致団結して協力することができる」ことも自慢です。他にもあります。実は毎年、図書室の本の貸出冊数が増えています。昨年度は、過去最高の一人平均85冊です。「お話の部屋」の本等を入れるともっと冊数は多いですね。これには校長先生も驚きました。今年度も、沢山の本を借りている姿や、図書室でマナーを守って読書や調べもの学習をしている姿が沢山見られて嬉しいです。「南っ子は読書が大好き」ということも自慢の一つです。さて、今日は、□□□□先生にあるお話を読んでいただきます。タイトルは『今日のヒーロー』(家庭用「彩の国の道徳」より)です。しっかり聴いてくださいね。それでは□□先生、お願いします。

今日のヒーロー



わたしのクラスでは、毎日帰りの会に、今日がんばっていた友達を見つけ、発表し合う「今日のヒーロー」というコーナーがあります。わたしは、洋子さんのことを発表しました。

わたしのクラスでは、毎日帰りの会に、今日がんばっていた友達を見つけ、発表し合う「今日のヒーロー」というコーナーがあります。わたしは、洋子さんのことを発表しました。

それは、昨日の昼休みのことでした。わたしは、雨が降っていたので図書室へ行き、この間から読みたかった本を見つけました。座って読み始めようとしたときです。ななめ奥の方にじっと静かに座っている一年生がいました。時おり、にこっとしながらじっと絵本を見つめています。となりの席を見ると、わたしのクラスの洋子さん

ようかなと思ってね。」
「そう。一年生も喜ぶね。」
「これからも、小さい子にたくさん本を読んであげたいなど、思っているの。」
と目を輝かせながら、話してくれました。

教室にもどり、洋子さんにそのわけを聞いてみました。すると、
「わたしは、本を読むことが好きなの。それに、小さい子のお世話もすきだから、一年生に絵本を読んであげてあげたじゃない。たけしくんのお母さんに「まゆみちゃん、やさしいわね。ありがと。」って何度も言われたわよ。それに、おばあちゃんが入院したとき、毎日お見舞いに行ってくれたでしょう。まゆみの励ましで、おばあちゃんが元気になったのよ。いいところ、まだまだあるわよ。自分でもさがしてこらんさい。」
「そうかあ。お母さん、ありがと。」
「そういえば、先生に「まゆみさんの気持ちのよいあいさつを聞くと、元気が出るわ」と、ほめられたっけ。それから…」

帰りの会で、わたしは昨日と今日の洋子さんの様子をクラスのみんなに伝えました。先生は、
「人はだれでも必ずいいところがありますよ。みなさん、自分のよいところを見つけてみてくださいね。」
とおっしゃいました。
(わたしのいいところって何だろう。)

夕食のとき、お母さんに
「わたしのいいところ、他にも見つけたよ。」
と話しました。
「よかったわね。今日の我が家のヒーローはまゆみに決定！」

「まゆみのいいところ、あるわよ。この間、たけしくんが仲間外れになっていることに気づいて、仲間に入れて

とのお話で、わたしは笑顔になりました。今日の我が家のヒーローはまゆみに決定！」

自分で思ってるほど あなたは何もできない子じゃないんだよ

人には悪いところもあるけれど 良いところはもっとあるよ

皆さん、いかがでしたか。お話に出てきたまゆみさんや洋子さんのように、南小にもヒーローは沢山いますよね。皆さんのクラスの「今日のヒーロー」は誰ですか。しっかりとお友達のよいところを、これからも沢山見つけてくださいね。そして、今、お話をしっかり聴いてくれる「あなた」。「あなた」にも沢山よいところがあります。先生が言っていましたね。「人はだれでも必ずいいところがありますよ。皆さん、自分のよいところを見つけてみてくださいね」。校長先生は、こんなことを考えました。「1人が必ず1つよいことをすると、432名の南っ子がいますから、432のよいことが起きます。1人2回よいことをすると864のよいことが。では、1人3回、4回よいことをすると…。この南小はもの凄いいことになりますね!」。1年生の皆さん、ちょっと難しいですが後で考えてみてください。南小では皆さんが主人公。南っ子一人一人が、みんなヒーローです! 自分に自信をもって、恥ずかしがらずによいことだと思ったことはどんどん行っていきましょう。頑張る皆さんを、先生たちや家の人たち全員でいつも応援していますよ。

『南小・家庭と連携した道徳教育の推進』

南小では、「道徳教育」も教育の重点として大切にしています。昨年度より道徳教育推進教師が中心となり、学校全体で道徳の教材を児童とともに保護者の皆様にも読んでいただき、親子で一緒に感想や自分の考えを出し合い、話し合うとともに、感想を全家庭で共有する『心をつなぐ』道徳の取組を始めました。道徳の教科書を活用し、親子で一緒に考えを深めることは子供たちの『豊かな人間性』を育むことや親子のふれあいにも有効です。今年度も、是非ご協力をお願いします。

今こそ、家庭用『彩の国の道徳』を！

人はだれもが素晴らしい人生を送りたいと願っています。自分が人間としてどのように生きるべきかを考えることは、とても大切なことです。学校では、教育活動全体を通じた道徳教育はもちろんですが、週に1回、「特別の教科 道徳」の授業があります。お話朝会でも活用した家庭用『彩の国の道徳』は、そんな「特別の教科 道徳」で扱う埼玉県独自の教材の中から、保護者の皆様にも読んでいただき、お子さんとの話題にしていきたい教材を集めたものです。掲載された教材を通して、お子さんと感じたことを話し合ってみてはいかがでしょうか。そして、この家庭用『彩の国の道徳』を日々の子育てに活用していただければ幸いです。

家庭用『彩の国の道徳』 を読んでみませんか？

子供が学校の授業で学んだ教材を親子で一緒に考えることができます。

1 学校の授業で学ぶ読み物教材を掲載！

今日の道徳では、どのようなお話を勉強したのかしら？

今日は「せいろくのゆうき」というお話を勉強したよ！



2 埼玉県の偉人まつわる教材を掲載！



「埼玉県の三偉人」である塙保己一や渋沢栄一、荻野吟子といった埼玉ゆかりの偉人のお話を掲載しています。

渋沢栄一も、小さいときは私たちと同じようになやんでいたんだね。

失敗したっていいんだよ。いっしょにがんばってみようか。

子供と接する上での注意点や、家庭でのルールなどを子供と話し合うときに活用できます。

3 子育てに関するコラムや資料を掲載！

例えば…
 こんな資料が掲載されています。
 ○子育ての目安「3つのめばえ」
 ○子育ての「さ・し・す・せ・そ」
 ○してはならないことがある！
 ○規律ある態度を身に付けよう！
 ○家庭用いじめ発見チェックシート

保護者の皆様へ

人はだれもが素晴らしい人生を送りたいと願っています。自分が人間としてどのように生きるべきかを考えることは、とても大切なことです。学校には、そのために週に1回、「特別の教科 道徳」の授業があります。この家庭用『彩の国の道徳』は、そんな「特別の教科 道徳」で扱う埼玉県独自の教材の中から、保護者の皆様にも読んでいただき、家庭で話題にしていきたい教材を集めたものです。掲載された教材を通して、お子様と感じたことを話し合ってみてください。そして、この家庭用『彩の国の道徳』を日々の子育てに活用していただければ幸いです。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/kateiyou/index.html>
 家庭用『彩の国の道徳』は、上記ホームページからダウンロードすることができます。

*家庭用『彩の国の道徳』は、県教委HPからもダウンロードできます。

【夢道場・南小『ほっとニュース』】

1年生・生活科『わくわく学校探検！』

1年生が生活科で、自分たちの南小学校を探検しました。前は2年生に案内してもらっての探検でしたが、今回は1年生だけのグループ探検。事前に質問を用意し、各場所ですっきりとインタビュー。様々な特別教室や施設を仲間と協力しながら目を輝かせて探検する姿が見られました。また、職員室や保健室の入室の仕方や、学校には教師の他にも様々な職員が働いていることも知ることができました。



水泳学習に向けて『5・6年生がプール清掃！』

水泳学習が6月から始まるにあたり、南小の高学年リーダー5・6年生が、プール清掃を行いました。泥やコケ、落ち葉が溜まったプールを、時間をかけて丁寧に隅々まできれいにしようと一生懸命に取り組む姿に頼もしさを感じました。これで、全学年が気持ちよくプールで水泳学習ができます。5・6年生の皆、本当にありがとう！



『心肺蘇生法AED/アナフィラキシー対応研修会』

今年度も、水泳指導を前に、教職員全員で『心肺蘇生法・AED活用研修会』を実施しました。水泳指導中の事故を想定し、グループごとに対応策を協議し発表し合うとともに、実際に心肺蘇生法・AED使用の演習を行いました。また、エピペンの使用方法など食物アレルギー等によるアナフィラキシー症状の対応方法を全員で確認しました。



【校長室より】『花よりも花を咲かせる土になれ』

この時期の南小の風物詩。朝の登校後の始業前や休み時間に、一斉に元気よく、1年生はアサガオ、2年生はミニトマト、3年生はハウセンカやマリーゴールドに一生懸命水やりをする姿。「校長先生、見て、見て！」「校長先生、私のも！」。日々、成長している様子を誇らしげに見せてくれる子供たち。花壇ボランティアの皆さんは、どうしたら花が美しく咲くかを考えながら、それぞれの花に合わせて剪定や土壌の状態まで気配りをし、作業してくださっているのを改めて知った。頭が下がる。『花よりも花を咲かせる土になれ』。かつてメジャーリーグでも活躍した松井 秀樹 選手の母校、星稜高校の山下 智成 元監督の言葉。かけがえのない子供たちの健全育成のために必要な、大人たちが為すべき大切な姿勢を重ね合わせる。